

多摩川散策マップ

中流編 ①



河川 25 谷地川浄化施設



多摩川の水質改善を目的として作られた堤内浄化施設です。ここを含む4箇所の施設では「レキ間接触酸化法」という方法で浄化作業をしています。

自然 24 多摩大橋付近の河原



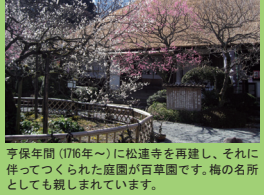
「第三紀層露岩」と呼ばれる洪水によってできる地層の一部で牛の群が泳いでいるように見えることから「牛群地形」と名付けられています。

自然 28 野鳥観察小屋



多摩川と大東川の合流点付近は、オオソシキやツグミ等の野鳥が多く見られ、野鳥観察小屋はバードウォッチングをする人で賑わっています。

自然 27 百草園



享保年間(1766年)に松道寺を再建し、それに伴ってつくられた庭園が百草園です。梅の名所としても親しまれています。

資料 31 府中市郷土の森博物館



多摩川のほとりに1987年に作られた複合文化施設。郷土博物館やプラネタリウム、古民家などを移築・復元した建てもの園があります。

河川 30 大丸用水堰



多摩川の水を大丸用水に引き入れるため、川の水を堰き止めて水位を調整する役割を果たしています。1998年に最新式の堰道を整備しました。

歴史 34 分倍河原古戦場



かつて多摩川の流域だったこの地で、元弘3年(1333年)に新田義満と足利満直が戦った。戦いが行われた。戦いが行われた。戦いが行われた。

自然 33 下河原緑道



木々に囲まれた幅3mほどの緑道は、かつて国分寺駅から分岐して下河原緑道の駅まで。この緑道は多摩川の砂利輸送が目的でした。

自然 36 府中郷土の森



10万平方メートルの敷地に、自然と共に府中を知る事ができます。また、本格的なプラネタリウムもあり、一日中楽しめます。

自然 35 修景池の大賀ハス



ハスの研究に生涯をさげた大賀一郎博士は、晩年府中市に住みました。池には2000年前の太古の種を開花させた大賀ハスがあります。

自然 38 多摩川「岸辺の散策路」



水辺の自然に親しもうと国土交通省が1980年代から取り組んできた散策路。多摩川下流から上流に向かって整備されています。

河川 37 是政橋



府中市と稲城市を結ぶ府中街道に1941年に架けられました。当時は木造の橋でしたが、1956年に、現在は橋の架け替え工事が進行中です。

河川 40 向陽台給水所



平成7年(1995)に都市景観大賞を受賞した向陽台地区の一面にあります。緑の屋根と白い壁が、とてもお洒落な建物です。

歴史 39 大丸用水



江戸初期に作られた用水で稲城市周辺7つの村が恩恵を受けています。現在は、梨畑の灌漑(かんがい)用としても利用されています。

資料 43 東京競馬場



JRA競馬博物館では、競馬の歴史や仕組みがわかりやすく展示されています。そのほか遊園地や日本庭園などの様々な施設があります。

河川 42 大丸地区スーパー堤防



幅が広く傾斜が緩やかなスーパー堤防は、大洪水のときでも水が急に溢れ、地盤にも強い堤防です。大丸地区は最も早く整備が進んでいます。

自然 46 多摩川親水公園



多摩川に沿って200mほど続く、府中市の公園です。シンボルである風車が心地よい風を散逸してくれます。

歴史 45 是政渡しの碑



碑には明治初期の渡し舟の姿が刻まれています。早稲田の渡し舟が、渡り板を渡り、増水時に川が広がったため、渡り板が壊れてしまいました。

河川 多摩川に関する河川構造物や施設など(明治時代以降につくられたもの)

歴史 多摩川とその周辺の歴史や、古くから伝わる文化にまつわるもの

自然 古くから残る自然、自然の利用・保護を目的としているもの

資料 資料の展示を行っている施設や、学習を目的とした施設など

その他 上記のいずれにも該当しないもの



●この地図は2006年12月現在のデータを元に作製しました。店舗の位置やその他のデータが変更になる場合もあります。あらかじめご了承ください。
●掲載されている道路などについては、国土院が発行する数値地図25000(空間データ基盤)に基づいています。
●表現の都合上、多摩川の川幅(河川敷を含む)が実際より広くなっています。そのため、距離や橋の位置・角度・長さなどが実際と異なる箇所があります。あらかじめご了承ください。
●スペースの都合上、地図には一部施設のみを掲載しています。掲載にあたっては、目印となる場所にある施設・店舗などを中心に京浜河川事務所が判断のうえ掲載しました。実際にはほかにもさまざまな施設・店舗があります。
●京浜河川事務所では、散策マップをより便利なものにするためにみなさまのご意見をメールにて募集しています。情報をお寄せいただく場合は、右記のメールアドレスまでお願いいたします。 E-mail: tanafollow@a.ktr.mlit.go.jp



1966年に発見されたクジラの化石にちなんで名付けられました。広い敷地は野球場、テニスコート、少年サッカー場等に整備されています。



東京都が1978年に運転を開始した下水処理場で、敷地内では紙の原料ケナフを栽培しているほか、多摩川ふれあい水族館もあります。

歴史 4 築地の渡し跡



築地村(現昭島市)と栗之須村(現八王子市)を結んだ大丸街道の渡し。船の記念碑と案内板が散策路わきに建てられています。

歴史 3 オリピック東京大会 自転車競技第二回門地点の碑



東京オリンピックの自転車団体競技のコースを記念して立てられた碑です。競技はオランダが2時間26分31秒9で優勝しました。

歴史 6 柴崎分水跡



分水は1737年に玉川上水から引かれました。長い間、柴崎村の水車や生活用水などに利用されてきました。

歴史 5 諏訪神社



811年に信州諏訪大社を勧請したと伝えられる古社で、市内最古の木造建造物ですが、火災により焼失し、2000年に再建されました。

歴史 8 普濟寺(立川氏館跡)



南北朝時代に武蔵七党の1つである西党の立川宮内少輔宗信が建立した寺です。ここには南北朝時代の六面石燈籠が国宝に指定されています。

歴史 7 立川・八幡神社大櫓



八幡神社が創建されたといわれる1200年が過ぎたといわれています。立川の天然記念物に指定されています。

歴史 10 日野の渡し跡



現在、多摩都市モノレールが走っている立日橋。江戸時代には、甲州街道を利用する人々が多摩川を渡る際に利用していました。

自然 9 立川公園と根川緑道



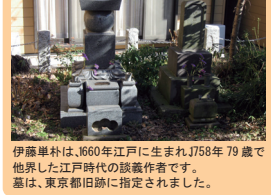
根川緑道は根川に沿って整備された緑豊かな道です。競技場施設がある立川公園は、季節の美しい花々が咲き、桜は特に鮮やかです。

河川 12 府中用水取水口



国立市青柳で取り入れた多摩川の水を府中市まで流している農業用水で、現役で利用されています。現在の取水口は1900年に作られました。

歴史 11 伊藤半朴の墓



伊藤半朴は、1660年江戸に生まれ、1758年79歳で他界した江戸時代の政治家・文筆者です。墓は、東京都旧跡に指定されています。

自然 14 矢川緑道と矢川緑地保全地域



立川段丘の崖から流れる湧き水を源流とする矢川の周りは、自然豊かな緑地帯です。上流地域は東京都の保全地域に指定されています。

歴史 13 御野立場碑



192年11月8日に大正天皇がこの場所に立ち寄ったことを記念するために建てられました。

自然 16 都立城山公園



青柳段丘の一部分が突き出ているのが城山の丘で、鎌倉時代初期、家康三田氏がここに城を構えたことから「城山」の名がつけました。

資料 15 くにたち郷土文化館



国立の通史を、原始・古代から近・現代まで、実物資料や解説パネル、模型、映像、パネルなどを通して、学ぶことを目的としています。

自然 17 ママ下湧水



「ママノハナ」などと呼ばれていたことによる多摩川によって造られた段丘の段差部分から湧き出る地下水です。都の名湧水のひとつです。

歴史 18 古民家旧柳澤家住宅



199年に復興・公開され、国立市の指定文化財となっています。江戸時代後期の畳葺き屋根の農家に当時の生活用具も残されています。

自然 19 程久保川ワンド



市民グループの働きかけで、程久保川・浅川・多摩川の3つの川の合流点に魚や植物が生き生きするように静水域「ワンド」が形成されました。

歴史 20 谷保天満宮



分倍河原古戦で死者が葬られていたとの伝承もあり、1955年の発掘調査によって塚3基の中世火葬墓だったことが判明しました。

歴史 21 三千人家



分倍河原古戦で死者が葬られていたとの伝承もあり、1955年の発掘調査によって塚3基の中世火葬墓だったことが判明しました。

歴史 22 大國魂神社



府中街道から横道にはいと、武蔵國の大神がいます。古くは大所宮と呼ばれ、武蔵國の大國魂大神を祀ったのがはじまりといわれています。

注意事項

●当マップで示した各スポット周辺には、一部危険な箇所があります。周囲の注意看板をよく見て危険な箇所には絶対に近づかないでください。
●散策する日の天候によって、路上が変化する場合もあります。天候の良い日を選んで、気をつけて散策しましょう！
●散策は自己責任において行ってください。散策中に生じた問題については、京浜河川事務所は責任を負いかねます。